



## 有松まちづくりの会役員会 (7月29日) 於有松コミセン

「有松を語ろう会」で出た意見を生かし、しっかり形としていくための具体的方法が各委員から出されました。

最重要課題である「トイレ設置」については、東海道沿いの町内会で意見を求めている段階との報告がありました。



(花屋Luore提供)

## 七夕にまつわる 話題2つ

### ● "七夕ライブー真夏の宵 ギターの奏ー" (7月6日) 於：寿限無茶屋

猛暑日にもかかわらず30名程の参加者が、開演の17時には会場の座敷に座っていた。ほぼ毎月行われている町家ライブ、ギターの響きにひと時を楽しんでいた。

座敷のある建物は明治のもの。その重厚さと障子から垣間見える庭は、涼を求める人にとって格好の場。演者シオミモトヒコのトーク上手と年配者に配慮した選曲に脱帽。イパネマの娘が流れた時には、アコースティックギターに聞き入ってしまった。

次回予告： 8月24日 17:00～ 寿限無茶屋 "サマーナイトJAZZライブ"



風になびく七夕飾り

### ● 東海道に七夕飾り

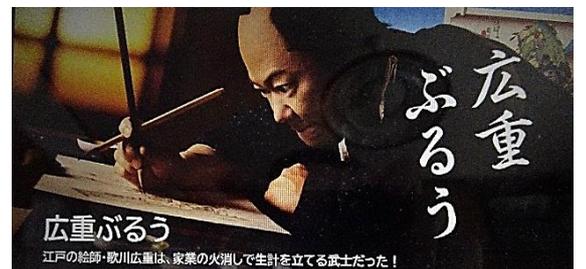
7月上旬、東海道沿いそこかしこに七夕飾りが。地域デザイン委員会が企画したもので、全部で25か所ほど。絞会館や岡家住宅、店舗の店先で短冊が風に揺れていた。お店に立ち寄った方が絞り柄の短冊に思いを記している。「平和でありますように」時代を反映するものも。竹は岡家住宅裏庭から切り出されたとのことである。



保永堂版 東海道五十三次 鳴海

## "広重ぶるう" 放映 (全3回 6/23・30・7/7)

有松を案内する上で、右上の浮世絵の作者・歌川広重は欠かせない存在である。その広重を描いたドラマがNHK総合で放映された。ドラマでは、広重が幕府の御馬献上の行列に参加した折の見聞をもとに東海道五十三次を描いたとされていたが、近年では行列には参加していないとの説が有力とか。地元の絵師が描いたものを参考に描いているとの説もある。かわら版124号を参照。



## 有松あないびとの会 研修旅行 (7月2日) 於:滋賀県東近江市 五個荘(ごかしょう)

今年の行き先は近江商人発祥の地 五個荘です。あいにくの雨模様でしたが、町並み見学の時はほぼ上がっていました。案内所前で記念撮影。のち、参加者26名は3班に分かれて東近江市観光ボランティアガイドの方にご案内いただきました。

2015年、日本遺産「琵琶湖とその水辺景観」に認定されているこの地は、堀には錦鯉が泳ぎ、屋敷内には水路が引き込まれていました。町並みは既に1998年に重伝建に選定されており、近江商人が築いた意匠の優れた和風建築群が現在も受け継がれています。白壁や舟板張りの佇まいを見ると、その素晴らしさとともにその維持管理の大変さを思った方もいたのではないのでしょうか。

途中、"近江商人屋敷（外村繁邸）"も見学し、一層の五個荘理解に役立ちました。

五個荘支部の3人のガイドさん、その周到的な準備とその場を和ませる話術に感心させられました。

町並み見学の後は昼食。元商人屋敷のお店で贅沢な造り。お料理も美味しく、皆満足顔でした。その後雨脚が強まり、永源寺への参拝は中止しましたが、愛知川の川霧の美しさを堪能。

有松には16:45帰着。8時間の旅でしたが、車内での企画も多く大変充実していました。



町並み見学

## 緑生涯学習センター自主事業 緑区深堀講座 有松 全3回 (6月20日・6月27日・7月9日)

緑区ルネッサンスフォーラム企画の散策会がありました。江戸から明治時代にかけて建てられた重厚な建物が数多く残されている有松、それらの建物の中の見学を通して有松の奥深い文化を感じ取ろうとの内容です。有松あないびとの会が案内しました。

1回目 6/20 は「有松の町屋の特徴を見つける」。東海道沿いの重伝建の建物を中心に町歩き。防火建築に気付かれると共に、1階の庇が出ている・つし2階になっていることにも気づく。

2回目 6/27 は「中濱商店と岡家住宅を訪ねる」。中濱氏より店蔵や堀・石垣・お庭までご案内いただいた。岡家住宅では有松あないびとの会の方から詳しい説明があった。

3回目 7/9 は「竹田家住宅としぼりの久田を訪ねる」。竹田氏より書院・洋間・栽松庵・蔵の詳しい説明があった。久田氏からは現代風のお店のつくりや茶室からの眺めについてのお話をいただいた。



(上)中濱商店駐車場

(中) 岡家住宅 梁

(下左) 竹田家住宅

(下右)しぼりの久田



## 津島祭迎え 有松天満社文嶺講 (7月15日) 於:中町年行司

有松天満社に津島社がお祀りされています。古くは牛頭(ごず)天王社といい、一般に「お天王さま」と尊称されています。お社は人の身に起こる災厄と疫病除けの守護神として崇められています。雨天のため中町年行司内で、亀垣宮司の祝詞奏上の後、総代長以下7人がご祈禱しました。その後、津島社の祠に神札を奉納しました。



## 新作紙芝居「日本遺産の町 東海道の有松」披露 (7月16日) 於:有松コミセン

有松あないびとの会ではガイド活動以外にも様々な取り組みを行っています。紙芝居制作もその一つ。4年ぶりの新作完成披露です。

これまで5作品を制作し、町並み案内や施設等訪問時に活用しています。有松のこれまでの歩みを題材にしたのは"庄九郎と仲間たち"に次いで2作目。いずれも文:浅野康子さん、絵:福岡友一さんの担当。お二人に制作についてのお話を伺いました。

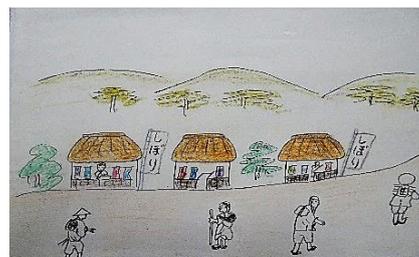


新作披露の様子

福岡さん: 昨年11月から取り掛かり完成が6月です。12枚のうち一日で仕上げたのもありますが、多くは絵のアイデアが浮かぶのに数日。描き始めると深夜になることもしばしばでした。絵の展覧会にも行きましたが、あまり参考にはなりませんでした。

浅野さん: 15年ほど前、トワイライトのスタッフをしていた時に低学年向けに紙芝居を作り上演していました。

元気な子ども達を集中させるには紙芝居が良いと思ったのです。右写真は那时的もの。それを大人向けにバージョンアップしたのが新作です。有松の成り立ちとみんなの苦勞、そして繁榮を紙芝居にしました。



《 紙芝居作品一覧 》 詳しい内容は「有松かわら版」を参照。

愛知用水物語 117号・ごんべい谷物語118号

庄九郎と仲間たち121号・お灸と指輪123号

有松の汗かき地蔵124号

## ㊦柵屋の賑わい㊧ "駄菓子 きょうか"

猛暑日の続く7月中旬、元気の出るお店に出会う。紙風船など昭和の匂いがぷんぷん。中年三人組が覗いていたのも納得。絞りまつりでの人だかりを思い出す。



14年前に柵屋に事務所を構えた(株)JDDCが運営。現在は不定期開店。開店日はInstagram 駄菓子にて告知。



小松孝泰写真展㊦ 空を舞う

## NADO. 『RANDOM』 (7月13日～20日) 於:六弦とコットン

店内を覗くと何とも個性的な作品であふれている。作者はNADOさん。岡崎市在住のイラストレーター。豊かな髭を蓄えたおじさんがいっぱい。写真左上の"おじT"がいい。公園で見かけた楽し気にスキップしているおじさんが忘れられず作り始めた、と紹介文にある。壁面には、同じ髭すら顔の張り子も所狭しと掲げられている。作品に引き込まれる。店内は若い女性客でいっぱいだった。



### 【六弦とコットン 展示・講座予告】

- ▶ 7/28(日)～8/4(日)11:00～17:00 7/31(水)定休日 鈴木伸明写真展 汐彩 Piece of CHITA
  - ▶ 10/5,19,26,11/9,16(いずれも土) 11:00～12:30 金継ぎ入門 初級/中級 講師:上山明子(乾漆彫刻家)
- 受講料 18000円(全5回分) 定員 8名 申し込み メール6gen.cotton@gmail.com/InstagramのDM 締切9/22

### 連載 有松におみせを構えて ④ Amitie (アミティエ) フェアトレードとオーガニックのお店

店主の内藤達雄氏が接客中、写真左の句集の一部を紹介していた。著者は祖父 内藤吐天(とてん)。成海神社にある芭蕉の句碑「初秋や海も青田の一(ひと)みどり\*」を書いた方である。祖父への敬愛が伝わってきた。

#### ▶ お店を始めることにした理由は？

「人を幸せにする喜びを買える店」を作りたいかった。

ほんの少し想像して下さい。海の向こうで働く人のこと。世界には少ない賃金の為に貧困に苦しむ人々がたくさんいます。その原因の一つに不公正な取引があります。フェアトレードとは、こんなことが無いよう、原料や製品を立場の弱い生産者から適正な価格で継続的に購入し、彼らの生活の改善と自立を目指す事です。



私達Amitieは、「知らず知らずのうちに人を傷つけてしまう、誰かの犠牲の上に成り立つ買い物なんて嬉しくも楽しくもない」との思いからフェアトレード商品のお店を始めることにしました。

Amitieはフェアトレード商品、オーガニック商品を販売する事でよりエシカルで地球環境に優しくサステナブルな商品をお届けしています。

営業時間 10:00～18:00 / 月曜日は休み 祝日は営業 ☎ 052-602-8513

株式会社 TOTEN (会社名は祖父の俳号 内藤吐天をオマージュして)

\*緑区の区名が上記芭蕉の句に詠まれていることは偶然の一致であったが、奇しき因縁といえよう。「緑区20年史」

### 催事・行事予定

- 8月19日(月) 18:00 有松町並み相談会 有松コミセン
- 8月25日(日) 7:30 かえで道清掃 有松まちづくりの会
- 8月26日(月) 18:00 有松まちづくりの会役員会 有松コミセン ※中止

8/17(土) 14:30～16:00 Teddy Rose リピシス®ワークショップ 小物入れ缶

お洒落で大人可愛いドールフェイス〈リピシス®〉を使ってかわいい小物入れ缶を制作 参加費2000円(ワンドリンク付)



### Cafe T-Ryuju イベント

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

[pegasusb@mc.ccnw.ne.jp](mailto:pegasusb@mc.ccnw.ne.jp) 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会は、ホームページを公開しています。「有松のまち」で検索。

《編集後記》 先人の努力で残された素晴らしい町並みを守り、未来に繋げていく為の次なる一步を踏み出そうとしている有松。そんなまちの息吹を伝えていきます。

